

〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1314
FAX:(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和 8 年度 不登校・いじめ等対策推進事業における 域別シンポジウム

- 日 時：令和 8 年 6 月 2 4 日（水） 1 3 : 1 5 ~ 1 6 : 2 5
- 会 場：万葉ふれあいセンター（南相馬市鹿島区寺内字迎田 2 2）
- 参加者：小学校教諭 2 9 名、中学校教諭等 1 6 名、義務教育学校教諭 3 名、県立中学校教諭 1 名
合計 4 9 名
- 内 容：講 義 「域内の生徒指導上の課題」「SSR の実際と今後の生徒指導の在り方」
協 議 「いじめの認知及び対応について」「アセスメントシートについて」
総 括 福島学院大学 特任教授 安部 郁子 様

【研修のまとめ】

いじめの認知や初動対応に関する危機意識を高めるとともに知識を深め、SSR 実践校の事例を参考に包括的な支援の在り方を協議することを通して、発達支持的生徒指導の重要性を改めて確認し、自校に即した実践的な知識を一層深めることができるようにする。

- （1） 令和 6 年 8 月に改訂された いじめ重大調査に関するガイドライン に基づき、いじめ等の問題行動への適切な初動対応や機能的な生徒指導体制づくりについて、各校において再度確認し、継続して対応していく。
- （2） SC、SSW 等との連携を図り 児童生徒の自尊感情を高めることを大切に、スペシャルサポートルーム（SSR）実践校の取組 を参考にし、発達支持的な生徒指導の推進 を図る。
- （3） アセスメントシートの目的や意義を理解する とともに、個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成や活用を視野に入れ、各校において 特別支援教育や就学指導のさらなる充実を図る。

研修の感想

- いじめ認知に関しては全職員でもう一度確認する必要がある。また、児童との関係はもちろんだが、保護者とも密に連絡を取ることが大切ではないかと思う。
- 学校の規模の大小にかかわらず、いじめは起こりうる。「重大事態」になることもゼロではない。未然に防ぐためにも、早期対応、抱え込まずに行えるよう、学校全体で共有したい。
- SSR は中学校での取組ではあったが、小学校でも困り感をもっている児童に対する支援の参考となる点が多々あり、たいへん勉強になった。
- アセスメントシートの活用については、多角的に背景、現状を分析、共有する重要性を学んだ。他校の実例や自校の状況に即して、活用していければと考える。
- 具体的な事例検討を通して、「もし自校で起こったら？」という感覚で考えることができた。

